

平成 21 年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 2 6 9 2 2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 基盤研究 (C) 4. 研究期間 平成 20 年度 ~ 平成 22 年度
5. 課題番号 2 0 5 2 0 5 2 9
6. 研究課題名 リメディアルの視点から一大学生の英語学習意欲減退調査と学習者自律へのニーズ分析

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 1 8 4 9 3 7	フリガナ ケダ マミ 植田 麻実	コンピュータサイエンス学部	准教授

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
9 0 3 3 1 5 0 3	フリガナ イヅカ ミ 石塚 美佳	コンピュータサイエンス学部	准教授
9 0 4 0 9 8 0 5	フリガナ アカワ トモエ 阿川 敏恵	恵泉女学園大学・人文学部	講師
2 0 0 5 4 8 3 5	フリガナ オクダ サチ 奥田 祥子	大東文化大学・外国語学部	教授
4 0 4 5 4 1 8 6	フリガナ カレイラ マチ子 カレイラ松崎 順子	東京未来大学・こども心理学部	講師
3 0 4 6 8 6 2 3	フリガナ アベ エミカ 阿部 恵美佳	大東文化大学・外国語学部	非常勤講師

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字~800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

平成21年度に実施した研究の成果について
 『具体的な内容』
 昨年度施行したパイロットスタディをもとにして、本年度は1)全国20校の大学生2千人あまりを対象に学習意欲減退に関するアンケート本調査を実施した。また夏休みの期間を利用して2)中学・高校・大学で教鞭をとる英語教師9人に対して教師インタビューを実施した。
 『意義・重要性』
 1) 本調査では、パイロットの結果を受け項目を絞り込み、英語学習意欲減退の時期を独立変数とすることによって、リサーチ・クエスチョンである、いつ、どのようなことがきっかけとなって英語学習意欲を失ったのか、に対しての返答に焦点をあてた。また、英語学習意欲をなくした経験が無い、あるいは無くしても復活した、と答えた被験者と、無くしてしまったままに留まる被験者双方に具体的な経験に関して自由記述をしてもらった。量的データと共に自由記述による質的なデータも収集できた意義は大きい。
 2) 教師インタビューに関しては、中学・高校・大学それぞれの機関の教師側の意見を聞き、学習者の意欲喪失に関して別な視点を得た。インタビューは録音しスクリプトを起こした。平成22年度5月に学会発表を行い報告する。中学、高校の教師に比べ、大学の教師は、学習者がやる気を無くした原因や時期に関して認識に違いがあり、対処法に関しても違いが明らかになった。
 3) パイロット・スタディの結果に関しては、メンバー8人全員で分析や先行文献などを分担し論文にまとめた。これはThe Language Teacherに掲載が決定している。この結果からは、英語における学習動機減退は、学習全般に対する無動機とよべる状態とつながっていることが判明した。今後学科を越えた基本的な予習復習の習慣づけなどを行っていく必要性、また学生が自ら属している社会に対して、どのようなスタンスをとっていくことが英語を必要と感じることにつながっていくのか、などいくつかの重要な示唆を受けた。

10. キーワード

- (1) 学習意欲喪失 (demotivation) (2) 動機づけ (motivation) (3) 学習者の自律
 (4) ニーズ・アナリシス (5) 英語 (6) 大学生
 (7) リメディアル (8) 無動機 (amotivation) (裏面に続く)

11. 研究発表（平成21年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計(2)件 うち査読付論文 計(2)件

著者名	論文標題			
阿川敏恵,阿部恵美佳,石塚美佳,植田麻実, 奥田祥子,カレイラ順子,佐野富士子, 清水順	大学生の英語学習における動機減退要因の予備調査 Preliminary study of demotivating factors in Japanese university English learning (掲載確定)			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
The Language Teacher	有り		2009	

著者名	論文標題			
植田 麻実	英語学習における学習意欲喪失(demotivation)の社会的要因			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
日本実用英語学会論叢	有り	No.15	2009	21-28

〔学会発表〕 計(2)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名	発表標題	
Agawa, Toshie	Digital Storytelling-A Creative Way to Facilitate Collaborative Group Work and Change Learner Attitude	
学会等名	発表年月日	発表場所
The 2009 Asia TEFL International Conference	2009年 8月 9日	Bangkok, Thailand

発表者名	発表標題	
阿川, 敏恵	英語学習に対する学習者の動機づけ変化—デジタル・ストーリーテリングをしようとした協同学習の試み—	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本協同教育学会 第六回大会	2009年 10月 17日	神戸 (神戸大学)

〔図書〕 計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--